



しんろだより

第5号 令和6年9月20日
米子養護学校 進路指導部

一人一人の能力を最大限に伸ばし、自立と社会参加に向けて、より豊かに生きる児童生徒を育成する

職員対象 事業所見学



夏季休業中の8月21日(水)に職員希望者対象の進路研修として、事業所見学を行いました。今年度は、就労継続支援A型・B型事業所、生活介護の事業所の中から4か所の事業所にお世話になり、グループに分かれて見学をしました。卒業生がどのように就労・生活をしているか、「自立と社会参加」に向けて必要な力は何か、担当者の方からお話を伺いました。

事業所紹介

林-RIN- (米子市和田町)

【就労継続支援A型】

農作業(トマトやナスを育てる)、
食品加工作業、箱折り、マスコット作成 等

くらしかる (米子市皆生)

【就労継続支援B型】

にんにくの皮むき・選別、洗い物、仕込み、
盛り付け、外作業(収穫や草取り) 等

ホップ (米子市安部)

【生活介護】

農作業(キャッサバを育てる)、ごみの分別・
リサイクル、紙でゴミ箱作製、ポスティング 等

あかり広場 (米子市皆生温泉)

【就労継続支援A・B型、生活介護】

レストラン業務、パン製造・販売、
タオルたたみ、外作業 等

必要な力って何?

事業所の方からよくお聞きする「自立と社会参加に必要な力」を5つ紹介します。



あいさつ



報告・相談を
する



清潔、
身だしなみ



作業を続ける
集中力



余暇を
過ごせる

等々...

在学中に意識すること(必要な指導・支援)



○小学部の頃から相手を意識したあいさつをしていく。

○日常生活や学習の場面で、困ったときや手伝ってほしいときに、自分から伝えられる方法を身につける。



手伝ってください・お願いします等の定型文を使う、カードを渡す、サインやジェスチャーを使うなど。

○手洗いを習慣づける。身だしなみを整える。



トイレの後、外から帰ってきたとき、食事の前、調理の前など。

○集中して作業したり、時間いっぱい取り組める力をつける。



始まりと終わりがわかるような課題に取り組んだり、時計やタイマーを使って「終わり」を視覚的に示したりすることで、学習や作業ができるようにしておく。

○好きなものや趣味など、休憩時間の過ごし方を増やしていく。

読書や絵を描く、パズル、ブロック遊び、ラキューなど、一人で過ごせる余暇の選択肢を増やしていく。楽しみがあると、仕事や活動を続けるモチベーションにつながる。

○何事もチャレンジしてみる。



できないと決めつけるのではなく、やってみることでできることや活動の選択肢を広げていく。

----- 切り取り線 -----

進路に関して知りたい情報がありましたら御記入ください

学部 小・中・高 名前 _____

担任 → 各学部進路指導部